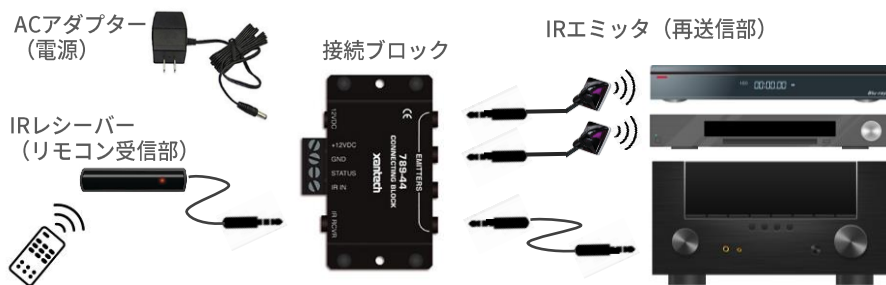




IR (赤外線)リモコン拡張システム インストール簡易マニュアル

IRレーザー	XANTECH DL85
IRエミッタ	XANTECH 282D または 284D
接続ブロック	XANTECH 789-44 (または791-44)
ACアダプター	PS12-0.5-EX

システム概要



システムの特長

- 本システムは赤外線リモコン専用です。(搬送周波数帯:30k~60kHz)
- 別室や扉付きラックの中にあるAV機器もリモコン操作を可能にします。
- リモコン受信部はとても小さく、目立たずに設置することが可能です。
- 高感度リモコン受信部のため、大型ホームシアタールームにも対応します。
- 再送信部は、AV機器のリモコン受光部に貼り付けて使用します。
- 市販のモノラルミニジャックコードを使用すれば、AV機器のIR端子への接続も可能です。(すべての機器の動作を保証するわけではありません)

主な仕様

■ IRレーザー (リモコン受信部)

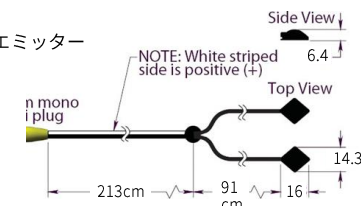
ディンキーリンクIRレーザー
Xantech DL85

- 映像機器のノイズに強い、LCD / CFLプルーフ
- 受信状態確認用、赤色LED搭載
- 小型・高感度IRレーザー(直線見通し状態で、最大24mまで受信可能)
- ブラック、ホワイト、シルバーの化粧カバー付属
- ケーブル:2.13 m、φ3.5mmステレオミニプラグ(3極)
- 電流 :最大 100mA、定常時 10mA
- 外形寸法:W 64.5mm×H 14.4mm×D 7.9mm (化粧カバー装着状態での実測値、コードによる突起を含まず)

■ IRレーザー (リモコン受信部)

IRエミッタ (シングル) IRエミッタ (デュアル)
Xantech 282D Xantech 284D

- Sourceへの接続機器や各Zoneの機材を赤外線コントロールするためのエミッター
- 透明粘着テープで接続機器の受光部に貼り付けて操作
- 再設置時用透明粘着テープ付属
- 3.5mmモノミニプラグケーブル(約3m)
- 小型、高出力
- ケーブル:3.05 m、φ3.5mmモノラルミニプラグ(2極)
- 電流:ローパワーモード 3mA、ハイパワーモード(定常時) 12mA
- SpeakerCraft社 IRE-1.0、IRE-2.0の代替として使用可
- 外形寸:右図参照



■ 接続ブロック

1ゾーン4ソース接続ブロック
Xantech 789-44

- IRレーザーポート: 1 (φ3.5mmステレオミニ3極ジャック)
- IRエミッタポート : 4 (φ3.5mmモノラルミニ2極ジャック) (284D使用により8機器まで対応)
- 接続拡張用端子 : 1 (4極式ネジ端子、STATUS端子対応)
- パワー供給状態を知らせるLED搭載
- 電源: DC12V、2.1 mm同軸、センタープラス電源ジャック
- 外形寸法: W 74mm× H 52.5mm× D 22mm (壁面取付を想定した状態での実測値)

接続方法

■ IRレシーバー（リモコン受信部）

• ミニジャック端子を使用する場合

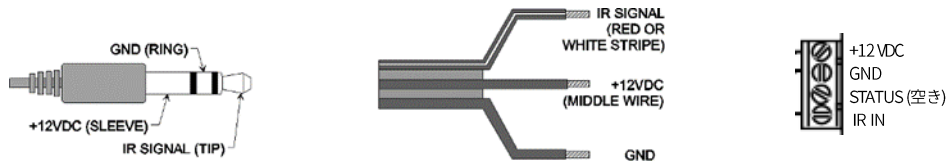
接続ブロックの「IR RCVR」端子に接続します。

市販のステレオミニジャックケーブル（オス-メス）にて延長も可能です。

• バラ線の状態で接続する場合

図を参照し、信号の種類ごとに接続ブロックの各端子に確実に配線してください。

受信部を2台接続したい場合は、2台目の接続はこちらの方法をご利用ください。



- ✓ リモコン受信部はお手持ちのリモコンを実際に操作する場所から見通せる位置(できる限り正面方向)に設置してください。
- ✓ Bluetooth式や電波式などの赤外線以外のリモコン、または赤外線式であっても一部のエアコンなど特殊な周波数帯を利用しているリモコンにはご使用いただけません。
- ✓ 設置位置によっては、照明機器や他の家電製品が発するノイズ、また、室内の壁紙や鏡などの影響により動作が不安定になる場合があります。また、リモコンが発する信号の強度は、リモコンによって大きく異なります。受信部を最終固定する前に、必ずいくつかのリモコンで動作を確認してください。

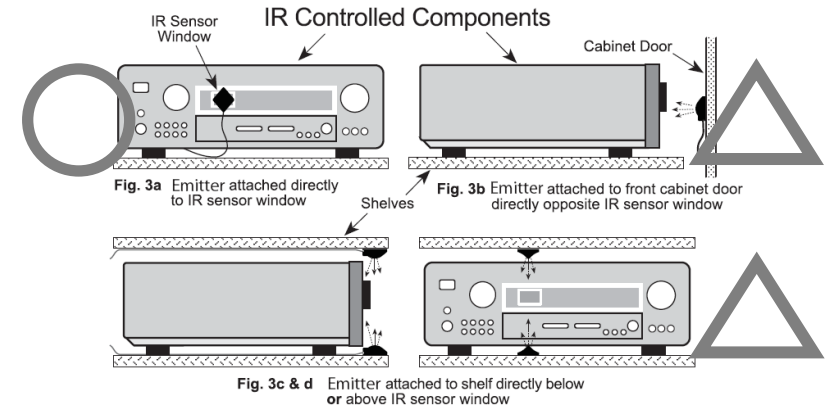
■ IRエミッタ(再送信部)

- 接続ブロックの「EMITTERS」端子に接続します。

延長する場合は「XANTECH078400」をご利用ください。15mの延長が可能です。

- ✓ 操作対象の機器との接続は Fig. 3a のように、操作する対象機器に内蔵されたリモコン受信部に本機を直接貼り付ける方法を推奨しています。1つの再送信部で複数の機器をコントロールするようなご使用方法は推奨しておりません。

- ✓ 機器への直接貼り付け以外の方法を選択した場合、棚板の形状、棚の扉と機器との距離、他機器の配置状態などにより、動作しにくくなる可能性があります。また少し離れた位置に複数の再送信部がある場合も、信号の混線により動作しなくなる可能性があります。最終固定する前に、必ず全機の動作を確認してください。



■ 接続ブロック

- 市販のモノラルミニジャックコードを使用すれば、AV機器のIR端子への接続も可能です。（すべての機器の動作を保証するわけではありません）
- IRレシーバと本機をバラ線で接続する場合、端子はユーロブロックになっていますので、小さいマイナスインプラグをご用意ください。
- ✓ 本機は、接続する受信部や再送信部の数量、リモコンを使用する頻度、照明機器や他の家電製品が発するノイズの量によっては本体が温くなる場合がありますので、温度管理が必要な棚やラックなどへの設置はお勧めいたしません。

より詳細な情報が知りたいときは

当社（オーディーエス株式会社）のホームページに各機器の英語取説（メーカー原文）を掲載していますのでご参照ください。 https://biz.ods.co.jp/list.php?c_id=90
また、下記の相談窓口からもご質問いただけます。

ODS

販売元： **オーディーエス株式会社**

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

システムに関するご相談はこちらまで

<https://biz.ods.co.jp/contact.php>



24時間受付
当社3営業日以内に対応

